

若手研究部会・熱湿気環境計測部会 2024 年度成果報告

主査：福井一真（神戸大学大学院工学研究科建築学専攻 助教）

当部会では、熱環境分野で行われる多様な「測定」を対象とし、(1) 若手研究者が基本的な測定を困ることなく実施できるよう、技術的な情報交換・比較を行い、適当な手法を検討することと、(2) 材料・設備・人体などの各分野における先端的な研究と、そこで用いられる測定技術についての情報交換を行うことの2点を目的として活動を行っている。活動内容は、(a) 熱環境分野の若手研究者間の交流会を開催し、研究事例とそこで用いられる測定手法の紹介と意見交換を行うこと、(b) 実験器具や技術についての知見の共有を目的として実験室の見学会を行うこと、(c) 各分野において先端的な計測が行われている研究者・技術者によるワークショップを開催することの3点である。

まず、(a) については、前年度にも開催していた若手研究者・実務者による研究交流会を引き続き実施した。現在、メンバーは熱環境・都市環境分野に関わる大学教員、学生、民間企業や研究所・試験所の職員を含む15名であり、日頃より建築空間・材料・人体・文化財などを対象に多様な測定が行われている。2024年度はオンラインにて2回交流会を実施し、黒瀬修一氏（ダイキン工業）と伊藤佳乃子氏（奈良女子大学）に話題提供をいただき、各自が行っている測定やそこで用いられている技術についての活発な議論を行った。

また、昨年度とは異なる取り組みとして、上記の交流会メンバーよりも研究歴の長い研究者から学ぶ機会を設けたいと考え、大阪公立大学・岸本嘉彦先生をお招きし、講演会を開催した。

(b) について、2024年7月11日にダイキン工業・黒瀬修一氏にご案内いただき、ダイキン・テクノロジー・イノベーションセンター（TIC）の見学会を行った。参加者は研究交流会のメンバーを含む計13名（社会人7名・大学院生6名）であった。当初予定していた実験室の見学会とは異なるものの、ZEB・省エネルギー化に向けた取り組みや空調方式、それらに使用されている計測技術についてご説明をいただいた。

(c) については、昨年度に実施済みである。

これらの活動は、部会の構成員を含む参加者にとって、各研究グループ内で個別に蓄積されてきた測定手法・技術についての情報を共有し、議論を行う貴重な機会であったと考えている。ここで得られた知見が、若手研究者・技術者の研究活動を推進する一助となることを期待している。